

積み雲

南国真夏の入道雲 JOCVのバイタリティー

第37号(2014・7)

●編集・発行

鹿児島県青年海外協力隊を支援する会

鹿児島市卸本町8-20

TEL 099-268-9711

(題字・初代会長 石神 兼文)

平成26年度通常総会を開催

平成26年6月27日、かごしま県民交流センターにおいて、平成26年度通常総会が会員多数出席の下開催されました。

衛藤威臣会長の開会挨拶後、来賓として鹿児島県国際交流課柿内一樹課長補佐、JICA九州勝田幸秀所長より祝辞を頂き、会長を議長に審議に入りました。

事務局より、平成25年度活動報告として、帰国隊員の進路支援や青少年のベトナム派遣、県下小中学校での「協力隊OBと留学生が先生」事業、国際協力講演会及びJICAボランティア留守家族連絡会等の実施報告がありました。

それらの活動に基づいた25年度決算報告、そして監事より会計検査報告の後、25年度活動報告並びに決算報告が承認されました。引き続き26年度事業計画及び予算の説明が行われ原案通りに承認されました。

会の後半では、青年海外協力隊平成23年度1次隊・マーシャル諸島・理数科教師 下平健太氏による帰国隊員報告会も行われました。クイズを通してマーシャルの地理や高校生の学力などについて現状を報告し、質疑応答でも活発なやり取りがあり、参加者からは、大変有意義な時間を過ごすことが出来たという声が多く聞かれました。

総会終了後にはJICAボランティア平成26年度1次隊の壮行会が開催されました。青年海外協力隊、日系社会青年ボランティア、シニア海外ボランティアの3名が訓練所で学んだ現地語で自己紹介をし、特技の歌や踊りを披露しました。出席者からは、応援メッセージに加え歌や詩吟がおくられ、出発隊員を激励しました。



鹿児島県青年海外協力隊を支援する会総会



下平隊員による帰国報告会



平成26年度1次隊壮行会

第1号議案 平成25年度事業報告

(平成25年4月1日～平成26年3月31日)

1. 帰国隊員への進路支援

- a) 今年度の帰国隊員は12名。進路状況は、現職復帰3名、民間企業・団体2名、JICA関係2名、進学2名、公務員1名、未決定者・未確認者2名
- b) 鹿児島県教育委員会等に帰国隊員特別枠・優遇制度採用等の要請
 - ・鹿児島県教育長、鹿児島県教育委員会教職員課長を訪問し要請。他県自治体優遇制度についての資料を提出。
- c) 鹿児島県及び自治体訪問による帰国隊員採用のお願い
 - ・鹿児島県人事委員会を訪問し募集要項への協力隊経験者の扱いの文章化を要請
 - ・鹿児島市、鹿屋市、霧島市訪問
- d) 進路相談カウンセラー、JICA九州、協力隊事務局との連携による情報の収集と提供
- e) 求人・進学など進路に関する情報の収集と提供
- f) 本会会員企業・団体、帰国隊員勤務先等よりの情報の収集と提供
 - 学校法人、森林組合、町村会、民間企業
- g) 帰国隊員知事表敬同行

2. 現職派遣の推進

- a) 現職派遣条例制定済自治体訪問と制度広報のお願い
 - ・訪問先 一鹿児島県、鹿児島市、鹿屋市、霧島市、いちき串木野市、指宿市、出水市(1名)
 - ・派遣実績 一 鹿児島県(5名)、鹿児島市(4名)、鹿屋市(1名)、奄美市(1名)
 - ・派遣中 一 鹿児島大学1名
- b) 県教育長、県教育委員会教職員課長に「教員特別参加制度」での推薦者増のお願い
 - ・派遣中 一 1名
- c) 民間企業・団体への現職派遣制度広報及び活用の呼びかけ
 - ・民間企業・団体からの現職派遣中は3名
- d) 募集説明会の参考者に対し現職派遣制度広報とアドバイス
 - ・鹿児島市で開催の募集説明会に2回出席。制度説明と進路相談を行なった。
- e) 現職参加制度活用希望企業・団体および相談者への対応
 - ・参加希望者の職場を訪問し制度説明と現職での参加をお願いを行った。

3. 協力隊事業の広報並びに国際性豊かな青少年の育成

- a) 「協力隊OBと留学生が先生」教育プログラムの実施
 - (青年海外協力隊鹿児島県OB会、(公財)鹿児島県国際交流協会との共催)
 - 県下各地の小中校で約44回実施。対象児童生徒2817名、派遣OB44名、留学生21名(別紙参照)
- b) 第22回鹿児島県青少年国際協力体験事業の実施
 - (青年海外協力隊鹿児島県OB会、(公財)鹿児島県国際交流協会との共催)
 - ・派遣地 一 ベトナム(ハノイ、ダナン、ホイアン)
 - ・期間 一 平成25年7月21日～7月28日(7泊8日)

鹿児島県青年海外協力隊を支援する会会報

- ・派遣人数 ー 17名(中学生5名、高校生12名)、同行者6名(内マスコミ2名)
 - ・事前研修 ー 1回目－6月8日、2回目－6月29～30日(1泊2日)
 - ・内容 ー 村でのホームステイ(4泊)、農作業体験・交流、2か所の協力隊員活動現場訪問・体験及び懇談、地元学生・村民との交流
 - ・共 催 ー 鹿児島市、鹿屋市、霧島市、枕崎市、南九州市、南さつま市、いちき串木野市
 - ・協賛企業 ー 鹿児島銀行、鹿児島トヨタ自動車、鹿児島空港ビルディング、鹿児島ヨコハマタイヤ、キンコー醤油、小正醸造、薩摩酒造、下堂園、太陽運輸倉庫、南国殖産、MISUMI、ミサカ、山形屋、弓場貿易、レイメイ藤井
 - ・活動報告 ー 報告会の開催、新聞・テレビでの報道、報告書作成・配布
- c) 国際協力講演会開催
(青年海外協力隊鹿児島県OB会、鹿児島市国際交流市民の会との共催)
- ・開催日 ー 平成26年2月16日
 - ・場所 ー かごしま市民福祉プラザ
 - ・内容 ー 第1部 講演会
講師 ー NPO法人ロシナンテス理事長 川原尚行
第2部 帰国隊員報告
園山智子(23-1 インドネシア、日本語教師)
榎木翔一(23-2 ベナン、ソーシャルワーカー)
 - ・参集者 ー 261名
- d) ボランティア事業(青年海外協力隊、日系社会、シニアボランティア)募集説明会への協力。
- 青年海外協力隊・日系社会青年ボランティア
- | 開催時期 | 実施回数 | 参集者 | 応募者 | 合格者 |
|------|------|---------|---------|-------|
| 春募集 | 2回 | 67(45)名 | 15(14)名 | 3(1)名 |
| 秋募集 | 2回 | 52(30)名 | 37(10)名 | 6(6)名 |
- シニアボランティア・日系シニアボランティア
- | 開催時期 | 実施回数 | 参集者 | 応募者 | 合格者 |
|------|------|---------|-------|-------|
| 春募集 | 1回 | 16(19)名 | 0(7)名 | 0(1)名 |
| 秋募集 | 1回 | 31(14)名 | 5(1)名 | 1(0)名 |
- e) ボランティア事業(協力隊、シニア)ゼミへの協力
- f) ホームページの<http://www.kagojocv.net> のリニューアル
従来の内容を一新すべく外部専門家に委託

4. 派遣協力隊員、シニア隊員、日系青年ボランティアへの支援

- a) 月刊誌「グラフかごしま」・「かごしまナウ」の送付
- b) 壮行会の開催 ー 平成25年6月21日、9月27日、12月20日、3月19日
- c) ボランティア家族連絡会の開催
(JICA九州、協力隊OB会との共催)
 - ・開催日 ー 平成26年2月16日
 - ・場所 ー かごしま市民福祉プラザ
 - ・内容 ー 協力隊事業の現況、帰国後の進路、派遣中隊員からの報告
帰国隊員と家族の懇談
 - ・出席者 ー 10家族15名、帰国隊員14名、関係者6名
- d) 知事表敬同行 ー 平成25年6月21日、9月27日、12月20日、平成26年3月19日

5. 組織強化及び会員サービス

- a) 月刊誌「クロスロード」の送付
- b) 会報「積乱雲」年2回発行と会員及び派遣中隊員に送付
- c) 留守家族対象の「視察の旅」への協力、情報提供
- d) 出発隊員家族・留守家族・民間企業・個人に加入の呼びかけ
- e) 会員への情報提供及び平成26年協力隊カレンダーの送付
- f) 会員状況

平成26年3月31日現在

	会員数	対前年比	口数	対前年比
地方自治体	30	増減なし	47口	増減なし
団体・企業	46	+1	59口	+1
個人	82	-2	84口	-1
合計	158	+1	190口	

6. 国際協力支援及び広報活動

- a) フィリピンボボール島地震復興支援 里水章 (25・2 農業協同組合)
- b) 国際交流・協力イベントへの参加 — 国際協力の日パネル展示、川辺二日市
- c) マスコミへの取材協力 — 南日本新聞社、KKB、MBC
- d) 講師派遣 — 姶良市、鹿児島大学、鹿児島工業高校、鹿児島西ロータリークラブ、鹿児島国際大学、大福コンサルタント、鹿児島県環黄海青少年事業
- e) 卸団地ふれあい市 — 協力隊活動パネルベースの出展

7. 各種機関・団体との連携

- a) 青年海外協力隊鹿児島県OB会との連携
- b) (公財)鹿児島県国際交流協会主催イベントへの参加・協力
- c) 鹿児島市国際交流市民の会主催イベントへの参加・協力
- d) かごしまアジア青少年芸術祭への参加・協力
- e) 国際協力機構 JICA イベントへの参加・協力
- f) 鹿児島県留学生推進協議会への参加・協力

8. 会議開催及び行事参加

- a) 通常総会—平成25年6月21日
- b) 理事会—平成25年6月21、12月20日
- c) 各種関係機関・団体会議、行事への参加
- d) 一般社団法人協力隊を育てる会全国代表者会への出席



鹿児島県青年海外協力隊を支援する会会報

(別紙)

平成25年度事業実績

教育事務所 等	市町村名	学校名	対象 学年	参加 人数	派遣日	講師	
						(JICA OBは派遣国、外国人講師は出身国を〔〕内に記載) OB	外国人
鹿児島市教育委員会	鹿児島市	川上小学校	6	91	1月21日	塚田 拓[コスタリカ]	
		西紫原小学校	6	150	2月21日	谷口 光代[モロッコ]	二宮 ロザリンド[フィリピン]
		草牟田小学校	6	77	11月22日	榎木 翔一[ベナン]	
		錦山中学校	全	18	2月14日	平田 華代[モロッコ]	
		星峯西小学校	6	82	7月12日	谷口 光代[モロッコ]	
		武岡小学校	6	60	2月26日	木原 和代[パラグアイ]	
		本名小学校	5・6	82	2月26日	小川 洋久[ボツワナ]	*曾 令鳳[中国]
		黒神小学校	全	17	11月28日	近森 章[ラオス]	*祖 恩厚[中国]
		伊敷小学校	6	88	2月21日	福永 みゆき[パラグアイ]	
		宮小学校	5・6	23	1月17日	榎木 翔一[ベナン]	
鹿児島	いちき串木野市	生福小学校	4~6	71	6月21日	本田 隆一[トonga]	ブントク ファーティー[シリア]
南薩	南さつま市	田布施小学校	6	14	2月20日	小川 洋久[ボツワナ]	ブントク ファーティー[シリア]
	南九州市	川辺小学校	4	74	2月28日	貴島 三実[コスタリカ]	*張 博翰[中国]
	南九州市	松ヶ浦小学校	全	25	12月10日	本坊 真衣子[セネガル]	
北薩	さつま町	山崎小学校	3~6	75	1月29日	川野 さつき[モロッコ]	*モハマド ハスワン[マレーシア]
	出水市	出水中学校	全	651	12月5日	本田 隆一[トonga]	
	阿久根市	西目小学校	5・6	12	9月11日	永山 俊介[中国]	
	薩摩川内市	水引小学校	6	32	2月25日	平田 華代[モロッコ]	
	長島町	平尾中学校	全	42	2月3日	永山 俊介[中国]	
	阿久根市	脇本小学校	5・6	65	11月8日	桑山 昌洋[ボツワナ]	
姶良・伊佐	姶良市	帖佐小学校	4	69	6月24日	岩元 佳代[ブータン]	モハメド エルフェキ[エジプト]
	霧島市	竹子小学校	全	48	1月29日	近森 章[ラオス]	
	伊佐市	大口南中学校	1・2	70	2月7日	近森 章[ラオス]	*韓 鮑麗[中国内モンゴル]
	湧水町	吉松中学校	全	87	2月18日	貴島 三実[コスタリカ]	*マヌラ メリー ウイアム[タンザニア]
	伊佐市	南永小学校	全	12	6月25日	桑山 昌洋[ボツワナ]	ブントク ファーティー[シリア]
	姶良市	三船小学校	5・6	31	2月5日	福永 みゆき[パラグアイ]	*曾 令鳳[中国]
	姶良市	錦江小学校	4	48	11月6日	木原 和代[パラグアイ]	
	伊佐市	大口東小学校	全	59	2月18日	平田 華代[モロッコ]	*宋 多情[韓国]
大隅	南大隅町	根占中学校	全	123	2月4日	瀬角 龍博[ガーナ]	カルマ テンジン[ブータン] 他2名
	肝付町	宮富小学校	6	8	2月5日	大久保 由夏[トonga]	
	曾於市	財部南小学校	全	22	6月21日	徳峰 啓太[ネパール]	*安 茂賢[韓国]
	曾於市	中谷小学校	全	12	6月 2日	福永 みゆき[パラグアイ]	
	曾於市	大隅北小学校	3~6	31	10月30日	吉住 優子[ベナン]	
	肝付町	国見小学校	4~6	39	12月10日	吉住 優子[ベナン]	
熊毛	南種子町	島間小学校	5・6	21	7月16日	大久保 由夏[トonga]	*祖 恩厚[中国]
	南種子町	西野小学校	全	34	12月19日	園山 智子[インドネシア]	モハメド エルフェキ[エジプト]
	南種子町	茎南小学校	5・6	19	1月28日	園山 智子[インドネシア]	
大島	大和村	大棚小学校	全	27	10月30日	高橋 祐紀子[パラグアイ]	
	大和村	大和中学校	全	59	12月11日	力竹 貴子[ニジェール]	二宮 ロザリンド[フィリピン]
	天城町	兼久小学校	6	11	2月25日	貴島 三実[コスタリカ]	
	天城町	天城小学校	5	25	11月18日	谷口 光代[モロッコ]	
	宇検村	田検小学校	全	67	12月10日	力竹 貴子[ニジェール]	二宮 ロザリンド[フィリピン]
	喜界町	喜界小学校	5・6	111	11月14日	塚田 拓[コスタリカ]	
	喜界町	早町小学校	5・6	35	11月13日	塚田 拓[コスタリカ]	
	21市町村	44校		2817		のべ44名(実数22名)	のべ21名(実数14名)

*がついている外国人講師・留学生(のべ10名)鹿大・国際大・鹿屋体育大・第一エ大

第2号議案 平成25年度収支決算

(平成25年4月1日 - 平成26年3月31日)

< 収入 >

(単位円)

項目	予算(A)	決算(B)	増減(B-A)	適要
会費	1,460,000	1,480,000	20,000	法人会員106口×10,000 個人会員84口×5,000
助成金	80,000	80,000	0	(社)協力隊を育てる会
雑収入	90,300	104,000	33,946	壮行会等会費 預金利息、HP戻り、カレンダー販売
繰越金	20,246	1,748,054	0	
合計	3,378,354	3,432,300	53,946	

< 支出 >

項目	予算(A)	決算(B)	増減(B-A)	適要
1. 事務局費	240,000	105,166	-134,834	
通信費	60,000	44,475	-15,525	総会案内、請求書発送、他
印刷費	40,000	19,561	-20,439	総会資料、コピ一代、他
会議費	50,000	9,315	-40,685	理事会、総会
消耗品費	60,000	21,815	-38,185	封筒、文房具、振込手数料、他
負担金	10,000	10,000	0	(社)協力隊を育てる会年会費
旅費	20,000	0	-20,000	
2. 事業費	2,509,000	1,607,606	-901,394	
クロスロード月刊誌送付	289,000	219,192	-69,808	1,810冊×120円、カレンダ一同封手数料
出発隊員壮行会	300,000	120,000	-180,000	
帰国隊員支援	50,000	39,564	-10,436	
国際協力講演会	30,000	79,500	49,500	通信費、講師交通費
留守家族懇談会	10,000	0	-10,000	
留学生と協力隊OBが先生	350,000	350,000	0	実行委員会負担金
派遣隊員への支援	300,000	94,820	-205,180	グラフかごしま・ナウ 送付
広報活動	380,000	211,714	-168,286	H/Pリニューアル、パネル、カレンダー
会報発行	250,000	190,244	-59,756	印刷費・送料
青少年国際協力体験事業	200,000	200,000	0	実行委員会負担金
国際協力支援事業	350,000	102,572	-247,428	フィリピンボホール復興支援、ブルキナ
予備費	629,354	0	-629,354	
合計	3,378,354	1,712,772	-1,665,582	

(次年度繰越) 3,432,300 -1,712,772 1,719,528

貸借対照表

資産の部	負債の部	
普通預金	1,759,528	会費前受 40,000
		純資産 1,719,528

第3号議案 平成26年度事業計画

(平成26年4月1日～平成27年3月31日)

1. 帰国隊員への進路支援

- a) 鹿児島県に帰国隊員特別枠・優遇制度採用等の要請
- b) 講演会及び企業懇談会の開催「グローバル人材と民間連携」
- c) 自治体へ帰国隊員採用と帰国隊員特別枠・優遇制度採用等の要請
- d) 知事表敬同行
- e) 協力隊事務局、ハローワークとの連携による情報提供
- f) 進路相談カウンセラーによる進路相談
- e) 求人・進学など進路に関する情報収集・提供
- f) 本会会員企業・団体、帰国隊員勤務先等よりの情報収集・提供

2. 現職派遣の推進

- a) 職員現職派遣条例未制定自治体にお願いの文書送付
- b) 職員現職派遣条例制定済自治体職員への制度広報と現職派遣の推進
- c) 県教育委員会に「教員特別参加制度」での推薦枠拡大のお願い
- d) 民間企業・団体への現職派遣及び民間連携制度の広報と活用の呼びかけ
- e) 募集説明会の参集者に対し現職派遣制度広報とアドバイス
- f) 現職参加制度活用希望企業・団体および相談者へのアドバイス

3. 協力隊事業の広報並びに国際性豊かな青少年の育成

- a) 「協力隊OBと留学生が先生」教育プログラムの実施
(青年海外協力隊鹿児島県OB会、(財)鹿児島県国際交流協会との共催)
①県下小中校で44回程度実施 ②派遣講師研修会の実施
- b) 第23回鹿児島県青少年国際協力体験事業の実施
(青年海外協力隊鹿児島県OB会、(財)鹿児島県国際交流協会との共催)
 - ・派遣地 — カンボジア(プノンペン、バッタンバン、シェムリアップ)
 - ・期間 — 平成26年7月20日～7月27日(7泊8日)
 - ・派遣人数 — 16名(中学生2名、高校生14名)、同行者7名(内マスコミ2名)
 - ・事前研修 — 1回目—6月14日、2回目—7月5—6日(1泊2日)
 - ・内容 — バッタンバンでのホームステイ(4泊)、農作業体験・協力隊員の活動現場2か所訪問・体験及び懇談、地元学生との交流
 - ・共催 — 鹿児島市、枕崎市、霧島市、南さつま市、南九州市、鹿屋市
 - ・協賛 — 県内企業15社
 - ・活動報告 — 報告会の開催、新聞・テレビでの報道、報告書作成・配布
- c) 国際協力講演会開催
(青年海外協力隊鹿児島県OB会、鹿児島市国際交流市民の会との共催)
 - ・時期 — 平成27年1月
 - ・内容 — 講演会及び帰国協力隊員活動報告
- d) 青年海外協力隊募集説明会への協力
- e) ボランティア事業(協力隊、シニア)ゼミへの協力 — 10月開催
- f) ホームページの<http://www.kagojocv.net>の充実

4. 派遣協力隊員、シニア一隊員、日系青年ボランティアへの支援

- a) 月刊誌「グラフかごしま」・「かごしまナウ」を隊員・ボランティアに送付
- b) 壮行会の開催 — 年4回
- c) ボランティア家族連絡会の開催
平成27年1月にJICA、協力隊OB会との共催
- d) 知事表敬への同行 — 年4回

5. 組織強化及び会員サービス

- a) 月刊誌「クロスロード」及び協力隊カレンダーの送付
- b) 会報「積乱雲」の発行及び送付
- c) 留守家族対象の「視察の旅」への協力及び情報提供
- d) 出発隊員家族、留守家族、民間企業、各種団体および個人に加入の呼びかけ

6. 国際協力支援及び広報活動

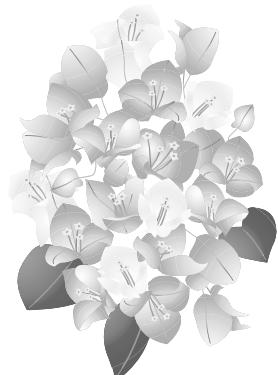
- a) 県内各地での帰国隊員報告会の実施（協力隊OB会との共催）
- b) 「小さなハートプロジェクト」の実施
協力隊員の活動現場周辺からの協力要請プロジェクトに対し協力隊員を通じて支援
- c) 県民の「国際支援・協力への思い」橋渡し支援
- d) 国際交流・協力イベントへの参加—パネル展示、相談コーナーの設置
- e) マスコミへの取材協力
- f) 講師派遣 — ロータリー・ライオンズクラブ、高校、大学、経済団体等

7. 各種機関・団体との連携

鹿児島県、JICA九州、青年海外協力隊OB会、(公財)鹿児島県国際交流協会、鹿児島市国際交流財団、鹿児島国際交流協会センター(KAPIC)、他各種団体との連携

8. 会議開催及び行事参加

- a) 通常総会・理事会の開催
- b) 各種会議、行事への参加
- c) 社団法人協力隊を育てる会会議への参加



第4号議案 平成26年度予算

(平成26年4月1日 - 平成27年3月31日)

< 収入 >

(単位円)

項目	予算	前年度予算	対前年増減	適要
会費	1,460,000	1,460,000	0	法人会員106口×10,000 個人会員80口×5,000
助成金	80,000	80,000	0	(社)協力隊を育てる会
雑収入	100,300	90,300	10,000	壮行会等の会費収入100,000 預金利息 300
繰越金	1,719,528	1,748,054	-28,526	
合計	3,359,828	3,378,354	-18,526	

< 支出 >

項目	予算	前年度予算	対前年増減	適要
1. 事務局費	240,000	240,000	0	
通信費	60,000	60,000	0	総会案内、請求書発送,他
	40,000	40,000	0	総会資料、コピー代,他
	50,000	50,000	0	
	60,000	60,000	0	封筒、文房具、振込手数料,他
	10,000	10,000	0	(社)協力隊を育てる会年会費
	20,000	20,000	0	
2. 事業費	2,472,000	2,509,000	-37,000	
クロスロード月刊誌送付	252,000	289,000	-37,000	2100冊X120円
	300,000	300,000	0	
	50,000	50,000	0	
	30,000	30,000	0	通信費
	10,000	10,000	0	
	350,000	350,000	0	実行委員会負担金
	300,000	300,000	0	グラフかごしま・ナウ 送付
	380,000	380,000	0	H/P、パネル展、カレンダー,帰国報告会
	250,000	250,000	0	印刷費・送料
	200,000	200,000	0	実行委員会負担金
国際協力支援事業	350,000	350,000	0	小さなハート他
予備費	647,828	629,354	18,474	
合計	3,359,828	3,378,354	-18,526	

鹿児島県青年海外協力隊を支援する会役員

平成26年7月1日～平成28年6月30日

役員名	氏名	現役職名
顧問	伊藤祐一郎 前田芳實 森博幸 ★岩崎芳太郎 井上晃男	鹿児島県知事 鹿児島大学学長 鹿児島市市長 鹿児島商工会議所会頭 鹿児島大学名誉教授 前会長
会長	衛藤威臣	鹿児島大学名誉教授
副会長	椿哲哉	鹿児島県国際交流協会 専務理事
理事	稻葉直寿 岩元純吉 海江田順三郎 上村基宏 岸尾隆 小正芳史 坂上省悟 逆瀬川尚文 ★志賀啓一 ★富永信一 ★山元浩義 坪水徳郎 永山在紀 中村耕治 原口泉 東紘一郎 南徹 森俊英 安楽大 ★木原和代 桑山昌洋 弓場秋信	鹿児島相互信用金庫 理事長 株山形屋 代表取締役会長 高島屋開発(株) 相談役 株鹿児島銀行 頭取 鹿児島県市長会 事務局長 鹿児島県中小企業団体中央会 会長 鹿児島県町村会 事務局長 株南日本新聞社 社長 志學館大学 理事長 鹿児島県国際交流課 課長 川内市商工会議所 会頭 鹿屋商工会議所 会頭 南国殖産(株) 社長 株南日本放送 社長 志學館大学 教授 株ヒガシマル 社長 iBS外語学院 院長 株南日本銀行 頭取 株トータルコミュニケーションサービス 社長 青年海外協力隊鹿児島県OB会 会長 青年海外協力隊鹿児島県OB会 顧問 青年海外協力隊カウンセラー、弓場貿易(株) 社長
兼事務局長	橋口和典 湯田照廣	坂元醸造(株) 研究開発部長 湯田自動車整備工場(有) 社長
監事		

★ 異動に伴う新役員

《派遣中隊員からの報告》

平成25年度 2次隊 ペルー(コミュニティ開発)
芝生 嘉恵

・休暇中の特別学級

米国政府の国際ボランティア活動機関・米国平和部隊（ピースロー）が日々実施しているプロジェクト。1～2月に、長期休暇中の小中学生（6～13歳）を対象に英語と週ごとに異なるテーマを教えていく。1月のテーマは世界の文化で、私は日本・南アフリカ・インドを担当。英語のクラスは毎回ピースローボランティアと授業内容を話し合い決定し、私はアシスタントの役割をしている。また、2月は任地から車で5分のクントゥルワシ集落にあるクントゥルワシ遺跡博物館への遠足を企画。前日の授業にサンパブロ市内の中学校教師を招いて、サンパブロの歴史に関する授業を実施。背景に、クントゥルワシ遺跡は東大の調査団が発掘した遺跡であるが、サンパブロ市内では博物館が開館して20年経った現在でも、事実とは裏腹に「日本人が金を持ち帰った」、「博物館にはレプリカしかない」といった間違った認識を人々が持っており、博物館の存続のため、現地住民に博物館のことを正しく理解してもらうため、博物館にサンパブロの人をよんでもほしいという意向があり実施に至った。

・栄養失調対策プロジェクト

任地があるカハマルカ州はペルー国内で4番目に貧困率が高く、任地サンパブロでは児童・乳幼児の栄養失調の問題があるので配属先から栄養指導をしてほしいという要望があった。そこで、小学校3校の学校給食を視察。給食は職員会議で決定され、児童の母親がローテーションで作っているが、日によって栄養に偏りがある。また、衛生面も改善の余地が見受けられる。そこで、実際に調理場に入り、バランスの良い給食作りを行った。また、そこで日本の給食を紹介するプレゼンを学校給食担当の先生、母親らに行い、バランスの良い食事について考えてもらった。12月から学校が長期休暇に入ったため、休暇明けの3月から、調理場での栄養・衛生指導を再開し、同時に児童に向けても衛生・栄養の授業を行う予定。また、栄養失調の具体的な原因調査のため、隣町に配属されている栄養士隊員の協力のもとアンケート調査を実施する予定。

・学校菜園プロジェクト

栄養失調対策プロジェクトと関連しており、ペルーでは野菜摂取を習慣づけるため数年前から学校菜園がブームになっている。そこで配属先から学校菜園改善の要望があった。サンパブロ市内の1校をモデル校にし、他の学校にも普及していく予定。まず、モデル校を含む3校で休暇明けから本格的に活動予定。具体的には、モデル校で現在使用している有機物が完全に分解されていないコンポストの改善とカウンターパートの意向でぼかし肥を導入する予定。

・観光プロジェクト

クントゥルワシ博物館配属の文化財保護の隊員と共にサンパブロ郡内の観光地マップを作成予定。昨年12月には博物館勤務の文化省の人とサンパブロ郊外の壁画の視察を行った。また、博物館20周年に伴い、博物館のお土産を改善予定。ピースローボランティアが関わっているサンパブロの編み物グループにカハマルカの講師の指導のもの博物館オリジナルのタペストリーなどを作れないか検討中。



栄養指導



手洗い指導

表敬訪問

JICAボランティア鹿児島県出発隊員3名による県庁への出発表敬訪問および3名の帰国表敬訪問が平成26年6月27日(金)県庁副知事応接室にて行われました。

JICA九州 勝田幸秀所長からそれぞれのボランティアが紹介され、佐々木副知事からは、辛苦苦しい経験は時が経てば経つほど熟成していい思い出になる、と出発隊員には激励の帰国隊員には慰労のお言葉がありました。その後、出発隊員が任国での活動に向けての抱負を述べ、進藤隊員は2度目となるモロッコ派遣について、日本料理を伝えると同時にイスラムの食文化について勉強して帰国したいと意欲を語られました。帰国隊員からは、任国での経験を積極的に社会に還元していくという意欲が語られました。



出発隊員紹介

(青年海外協力隊(平成26年度1次隊))

- ・吉原 久美代 ◎ルワンダ *公衆衛生



公衆衛生は疾病予防の基本であるので、「水の防衛隊」の一員としての衛生に関する課題に取り組み、衛生上の基本的な知識を指導し、幼くして亡くなる子どもを減らしたい。また、アフリカにおける安全な水の吸水率が少しでも上がるよう、その状態が維持できるよう貢献したい。

(日系社会青年ボランティア30回生)

- ・濱田 孝子 ◎ブラジル *日系日本語学校教師



日系人の子ども達に「日本語は楽しい！面白い！」と興味をもってもらうことはもちろん、日本語学習を通じて、自分たちの祖先や歴史に誇りを持ってもらい、「日系人」としてのアイデンティティを育むことができる活動を行いたい。

(シニア海外ボランティア(平成26年度1次隊))

- ・進藤 鈴子 ◎モロッコ *料理



前回の2年間の活動をベースにさらなる充実した活動ができるものと信じます。また異文化交流会開催の要請に従い、必要な部品、ハッピーや日の丸などほとんどを揃えることができました。また、和食に関しては情報豊富な生徒や先生方に納得してもらえるものを提供できるよう頑張ります。

会員募集中です。

1人の多くの人の応援が、海を越えた若者たちを勇気づけ、そのエネルギーが地球中に広がります。

年会費：①個人会員：5,000円／口 ②特別会員：10,000円／口

振込先：鹿児島銀行卸本町支店（普）829067

名義人：鹿児島県青年海外協力隊を支援する会 会長 衛藤威臣

なお、会員みなさまには、月刊誌「クロスロード」が送付されます。



編集後記

あいにくの大雨の中行われた26年度1次隊の壮行会でしたが、「こんな壮行会は初めてだ」と出席者が口を揃えるほどの盛り上がりとなりました。出発隊員3名それぞれが歌やダンスを披露すると、送り出す側からもメッセージに加え歌、詩吟、合気道が飛び出し、それぞれの任地に向かう隊員達を激励しました。国際色豊かで個性いっぱいのJICAボランティア壮行会、会員の皆様のご参加をお待ちしております。